

くらがり溪谷自然観察会

2025年 だより

12月のテーマ：落葉した森で目立つのは？

発行	2025-007
開催日	12/14(日)
開催時間	9:00～13:40
天候	雨/曇り
参加	6名(指導員含)
主催	西三河自然観察会
担当	馬場、武田、石黒

朝から続く雨は暖かく午後には晴れとの予報どおり11時頃には上がり、その後寒気と風が出て急に冷え込み師走らしい日となった。登山者もなく静かな溪谷であったが大量の落ち葉とときおり出会う倒木に先日の風の強さを知らされた。まだまだ紅葉シーズンの様子であるが赤みが少なく黄色が多いのが今年の傾向のよう。キョウハグマは咲き終えているがウチワダイモンジソウが僅か咲き残っており驚く！ 森で目立つは レモンエロウの効ノツメ黄葉！ 赤い木の実！



写真左上から：(科名省略しました) 効ノツメ、ミヤマシキミ(億両?)、マンリョウ、センリョウ、オオアリトオシ、サルトリイバラ、ヤブムラサキ、スルガテンソウ、紅葉しないヤマウルシ、ヤブツバキ、フノハナワレ、ヒメカンアオイ、マルバノホロシ その他：ウチワダイモンジソウ花、キミノセンリョウ実、ヤブムラサキ実、クログネモチ実 野鳥他：エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、コゲラ、ヒヨドリ



小部屋(Mushroom)

ウラジロウロコタケ

ご承知のように今の寒い季節に発生するキノコは僅かです。その中で観察できたものを紹介しますが馴染みのあるものは少ないと思います。「ウラジロウロコタケ」見聞きしたことのないものだと思います。保育社の日本菌類図鑑に紹介されていて発生は普通。分布は「日本全土、汎世界的」と書かれており、どこでも発生して「よくあるキノコ」と受け取れますが、肌感覚では見る機会はそれほど多くはなく1～2年/1回程度です。文面とだいぶ印象が異なります。針葉樹、広葉樹に発生する腐朽菌で乾燥、保存のために積み上げられた「薪」から発生していることもあります。今日は強風で落下した枯れ枝が沢山あり、それらを丁寧に探しました。名前の通り裏が白色で鱗のように重なって生える場合もあります。紙のように薄く、食材(食毒不明)に利用する気にはなりません。

写真下左から：ウラジロウロコタケ、フノスキカワタケ、スキエダタケ、シワタケ、ハカワラタケ、カワラタケ、エゴノキタケ、ニクウスバタケ、カイガラタケ、チャウロコタケ、ナンカイキクラゲ、ツノマタタケ、モエキビョウタケ、マユハキタケ 他に見られたきのこ：アイワタケ(老菌)、シロカイメンタケ(老菌)、キヌハダタケトビキ、カウソタケ、オオミノコフキタケ、ホウロウタケ、ダイダイタケ



次回開催予定： 3月8日 (日)

テーマ：未定

キノコの写真は馬場さん提供

トウノウネコノメ咲いてるかな？

くらがり溪谷でお待ちしていま～す。

作成 1/4 石黒